

<p>1 目指す学校像</p>	<p>○「モノづくり」と「コトづくり」、そして「人づくり」 ○都内唯一の「総合情報科」の工業高校として情報活用能力を育て実践的な職業教育を推進</p>		
<p>2 中期的目標と方策</p>	<p>(1) 学校経営 高いコンプライアンスを有する教職員集団を育成し、生徒・保護者の信頼を高める。様々な学校課題を横断的に検討し、教育活動の改善や工夫・提案などを行う。ICT 機器等を活用し会議等の効率的運営と意思決定の迅速化を実施する。</p>	<p>(2) 学習指導 「考える」「わかる」授業を展開し、基礎的・基本的な学力の定着を図る。教科マネジメントを確立し、組織的に生徒の学力向上を図る。上位の生徒については一層の学力向上を図る。スタディサプリ等を活用し、基礎学力の全体的向上を図る。</p>	<p>(3) 進路指導 粘り強い進路指導を徹底する。キャリア教育を充実させ、自分の適性を把握した上での挑戦を意識させる。資格や検定の受験を意図的・計画的に進め、技能スタンダードの目標達成と生徒の学習満足感を高める。もって自己肯定感を醸成する。</p>
<p>3 今年度の取組目標と方策</p>	<p>(1) 教育目標と方策 校内組織を活性化し1人ひとりが意欲的に取組める環境を実現する。 ①企画調整会議での学校経営計画の理解浸透や分掌間の調整能力を高め、学校運営の適正管理、必要方策の検討と実施を行う。 ②主幹会議を機能させ、教育課題に積極的に対応する。 ③「TOKYO P-TECH」によるIT人材育成のためのプログラムの計画的・継続的な指導の推進。 ④経営企画室は、経営的視点に立った経営計画を策定し執行する。 ⑤校務を組織化し、業務の分散化を行う。 ⑥組織的なOJTによる人材育成を行う。 ⑦ライフ・ワーク・バランスの改善に取り組む。 ⑧コミュニケーションを活発に行い、職員間の円滑な意思疎通を図る。</p>	<p>学力向上推進委員会を中心として、全教科で「わかる・考える授業」を展開し、生徒のやる気を引き出す。 ①学カスタンダード、技能スタンダードの実施を踏まえて、求める学力や技術・技能の到達目標を明確にし、ALを積極的に取り入れ、生徒の学力の確実な向上を図る。その際、STEAM教育や職業スキル育成を意図的に授業に取り入れ、実施する。 ②授業評価・到達度評価など適切な評価を計画的に行い、生徒のつまずき箇所を明らかにして、「わかる・考える」授業を展開する。 ③課題(宿題や予復習を含む)や小テストの実施等の工夫により、授業時間外の学習を促す。 ④スタディサプリ等や教科・系列が連携した指導体制に取り組むことで学力向上を図り、生徒の意欲を高める。 ⑤教科「人間と社会」を生活指導とも関連付けながら計画的に実施する。 ⑥大学受験を希望する生徒に対し補習・講習を実施する。</p>	<p>「生徒の希望進路の実現」を果たす。 ①学年集会、面談週間、個人面談などを活用し、粘り強い進路指導を継続する。 ②教員による企業訪問等により企業のニーズを把握した上で、3年間を1つのストーリーとして進路行事(講話、ガイダンス等)を充実させる。 ③企業講話、ものづくり講話等で積極的に外部人材を活用し、インターンシップの効果的な実施につなげるなど、生徒の職業観を醸成する。 ④対話力、協調性、分析的思考、セルフ・マネジメント、好奇心、動機づけ、リーダー性、責任感について、教科横断的にWPLを実施する。 ⑤町工グローバルITエンジニア育成プログラムを着実に実行し、参加生徒のグローバル感覚の育成を図るとともに、その効果を全生徒が共有できるようにする。 ⑥資格取得指導を推進し、ジュニアマイスターの取得を目指す。</p>
	<p>(2) 重点目標と方策 ①本校の特徴を理解した生徒の獲得 総合情報科の特色を生かした4系列のものづくり教室、1日体験入学など、広報を徹底することで多くの中学生に本校の特色を知ってもらい、本校への応募者を増やす。 ②「わかる授業」「考えさせる授業」授業を大切にしている指導 学カスタンダード、技能スタンダード等、各科・系列の学習到達目標達成のため、教科会・系列会議・総合情報科会を計画的に実施して教科マネジメントを機能させる。ICTを活用したわかる授業を推進する。「授業のチャイムスタート」「AL授業の実施」 ③希望者就職100%及び進路決定率100% 多様な生徒の希望進路に対応する。大学入試一般受験への対応。系列を生かした就職指導を充実する。粘り強い指導を全校的に継続し、教員による企業訪問やインターンシップの充実を図る。資格の取得を推進しジュニアマイスターを目指す。</p>		

○わかる・考える授業

○自律的生活態度の育成

○希望進路 100%の実現

(4) 学校生活と健康づくり	(5) 特別活動	(6) 広報活動と地域連携
<p>生徒の健康づくり、安全管理、環境美化を徹底し、体力向上を図る。積極的に社会に参画する人材の育成を図るため、教科と関係機関が連携した体験活動により、消費者教育・主権者教育を適切に実施する。</p>	<p>部活動の一層の活性化を図る。体育祭や文化祭などの学校行事において、生徒の主体性を引き出しながら一層の充実を図る。生徒会活動・委員会活動の活性化を図り、生徒が地域社会等で主体的に活躍する場を拡大する。東京都子供読書活動推進計画を踏まえて本校の読書活動を推進する。</p>	<p>本校を志す生徒を増やすため、SNS等を積極的に活用し、本校の魅力を発信する。募集・広報活動の工夫・改善による「推薦に基づく選抜及び学力検査に基づく選抜」の応募倍率の向上を図る。教職員による中学校訪問、管理職による学習塾等への訪問による募集対策を実行する。地域連携を充実・開拓し、本校の魅力を伝える。</p>
<p>すべての教育活動で生活指導の有効性を共有し、生徒に「身に付けさせる規律・規範」を明示して、「いつでも」「どこでも」「誰でも」の指導を徹底する。</p> <p>①身だしなみや言葉遣いに関する指導や挨拶ができる指導を継続して実施する。 ②すべての学校生活の場面で、学校として一致した「ぶれない生活指導」を行う。 ③特別支援教育の視点をふまえて、個々の生徒に有効な指導方法で対応する。 ④全教職員が一致していじめを許さない姿勢を見せ、いじめ撲滅を果たす。 ⑤宿泊防災体験活動等の防災教育を充実させて、自助・共助の意識を育てる。 ⑥市選挙管理委員会等と連携した体験活動により主権者教育を計画的に進める。 ⑦生徒指導部・学校いじめ対策委員会・特別支援教育委員会を中心として、全教職員と保護者が連携し、生徒個々のわずかな変化にも早期に対応し、生徒に自らの人生を充実させる指導を推進する。 ⑧あいさつ 100%を推進する。</p>	<p>生徒が諸活動に主体的・積極的に取り組む中で、帰属意識や他を思いやる心を育て、体力・気力を養い、困難な状況にあっても「くじけぬ心」を育てる。</p> <p>①新生入生に部活動参加を奨励し、2年生以降の部活動継続と加入を促し、加入率を向上させる。 ②自主的・自律的な学校づくりに向けて、生徒会の自立的活動を推進し活性化を図る。 ③部活動等の特別活動に限らず、体罰及び不適切な指導が行われることのないように、全教職員への周知及び全生徒への指導を徹底し、発着初期での対応が可能な体制づくりの強化を図る。 ④文化祭や体育祭などの全校で取り組む学校行事について、生徒会及び各行事の実行委員会等と担当教員とのコミュニケーションを活性化し、意見を集約・精選して学校全体の取り組みとしての一層の充実を図る。 ⑤読書活動を推進する読書会などの取組を計画・実施する。</p>	<p>ホームページや SNS を活用し、中学生やその保護者に本校の魅力を発信し募集対策を強化する。また、地域行事等への参加を推進する。</p> <p>①情報の即時発信のためにホームページを適時の更新・充実を行う。 ②中学校への出前授業、本校での体験学習を実施し、本校の特色ある教育内容を紹介する。 ③授業公開、学校見学会、学校説明会、個別相談会を適切な時期で実施する。 ④全教職員による学校説明会などを運営し、募集活動を充実する。 ⑤地域産業を中心とする企業との連携を推進する。 ⑥学校開放事業を推進するため近隣中学校や地域との連携により開かれた学校づくりの実施する。</p>
<p>④規範意識の向上、授業規律の確保等生活指導の充実 「身に付けさせる規律・規範」「授業規律」等、教職員の一致した指導を全教職員体制で実践する。日常的な生徒の様子の把握により特別指導を出さない。「チャイムスタート」に向けた休み時間等の活用指導。</p>		
<p>⑤部活動・特別活動の充実 部活動への加入を促し、競技力の向上を図る。文化祭・体育祭などの学校行事を充実するとともに、新型コロナウイルス感染防止やけが防止等の安全対策を徹底する。</p>		
<p>⑥本校の強みをいかした地域連携の強化 町田市少年少女発明クラブやものづくり文化振興協会との連携により、生徒のものづくり意欲の向上を図る。ただ ON 等の地域コミュニティと部活動との連携を図る。</p>		

4 数値目標 【昨年実績 → 目標値】

(1) 学校の特色理解

① 入学者選抜応募倍率

推薦 1.57倍 → 1.6倍以上

学力検査 0.87倍 → 1.2倍以上

② 来場者・HP 関連

学校見学会来校者数 172人 → 200人以上

学校説明会来校者数 418人 → 500人以上

文化祭来校者数 1906 (R1) → 1000人以上

ホームページ更新回数 年間300回以上

(2) 授業力向上

授業に関する科・系列研修会 年2回以上

授業見学回数 年1回以上

(3) 希望進路実現・資格の取得の充実

学校斡旋による希望就職者決定率 100%

総進路決定率 100%

ジュニアマイスター 5名以上

(4) より良い学校生活の推進

部活動加入率 78% → 80%以上

都大会出場 0 → 3部以上

年間総遅刻延べ人数 8018人 → 5000人以下

退学率 2.6% → 2%以下

転退学者計 5.7% → 4%以下

(5) 地域連携

各団体1回以上の催しに参加

(6) 年間図書貸出数 1062冊 → 1100冊以上

(7) ライフ・ワーク・バランス

電子決定方式 80%以上

夏休の取得 100%取得

閉庁日 完全実施